

令和5年 全国労働衛生週間スローガン

目指そうよ二刀流

こころとからだの健康職場

～10月1日から10月7日までは第74回全国労働衛生週間です～

皆様方には、日頃から(公社)広島県労働基準協会並びに三原支部の事業活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

三原支部は、全国労働衛生週間に向けた行事として、準備期間中に全国労働衛生週間説明会を3か所で開催しました。

## 全国労働衛生週間説明会を開催!!

全国労働衛生週間は、昭和25年に第1回が開催されてから一度も中止されることなく今年で第74回目を迎えます。この間、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保に大きな役割を果たしてきました。

労働者の健康をめぐる現在の状況は、労働者の高齢化の進行により一般健康診断の有所見率が年々上昇を続け、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加するとともに、女性の就業率の上昇に伴い、働く女性の健康問題への対応も課題となってきています。

また、中高年の女性を中心に、転倒など労働者の作業行動に起因する災害が高い発生率となっていること

もあり、今後、高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりを推進していくためにも、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)に基づく対策の推進とともに、労働者の健康管理や治療と仕事の両立への支援を更に推進していくことが求められています。

このような状況のもと、第74回全国労働衛生週間を迎えるにあたり三原支部では、週間準備期間である9月1日から9月30日までの間において、9月5日三井金属鉱業(株)竹原製煉所保健会館、9月7日河内保健福祉センター、9月8日に三原リージョンプラザを会場に、来賓に三原労働基準監督署の村上署長、三宅安全衛生課長をお迎えし、広島産業保健総合支援センターとの共催で全国労働衛生週間説明会を開催しました。三原会場につきましては、建設業労働災害防止協会広島県支部三原分会を含め3者の共催として



竹原会場

開催しました。

説明会では、冒頭に村上署長に挨拶をいただきました。その中で、心の健康に関して、精神障害の発生原因として長時間労働、過重労働があるものの、ここ最近ではコロナ禍の影響により以前に比べ減少している一方で、パワハラ等による発症が目につき、ハラス



河内会場

メント等の相談も多くあることから、事業場として安全配慮義務の点からも、職場内のパワハラ等の撲滅に取り組む必要があると述べられました。

体の健康に関しては、定期健診の令和4年の有所見率が全国平均で58.3%、広島局は60.08%、三原署管内では60.79%と、三原署管内の割合が高くなっている状況にあります。9月は「職場の健康診断実施強化月間」としてしますので、職場内において健康維持増進への意識付けを図るとともに、有所見者

には必ず医師の意見聴取を励行するようにとの話がありました。

最近では、石綿作業に係る事前調査結果の報告義務化、化学物質の規制制度の変更、アーク溶接の溶接ヒュームが特定化学物質に含められる等の法改正により、労働衛生対策の重要度が増してきています。難聴、じん肺など疾病の危険を有する業務についても、従事者のばく露防止対策や、作業手順等に留意しその改善を図るなど、ばく露防止、疾病防止に向けた労働衛生対策をお願いするとの話があり、最後に最低賃金が改定される旨の説明がありました。

署長挨拶に続き、広島産業保健総合支援センターとの共催として実施した労働衛生講演は、竹原会場及び河内会場では中国労災病院・治療就労両立支援センター保健師・健診情報管理指導士の庄垣内 梓様に「私の職場の健康課題と対策」をテーマに、三原会場では中国労災病院・治療就労両立支援センター理学療法士・健康経営アドバイザーの仁田 靖彦様に「行動災害予防について～職場の腰痛対策・転倒予防対策～」をテーマにお話しいただきました。

講演ののち、三宅安全衛生課長より労働衛生を中心としたトピックス等として、まず、一般健康診断の結果の有所見率が上昇を続けていること、有所見者に対しては医師による意見聴取の必要があり、産業医を選任している事業場は産業医を活用し、選任していない50名未満の事業場は、地域産業保健センター等を活用し、確実に医師による意見聴取を行うようにとの話がありました。



三原会場

今後、働く高齢者が益々増加してくることが見込まれることから、高齢労働者が安心して働ける職場環境が求められ、エイジフレンドリー補助金などを活用しエイジフレンドリーガイドラインに基づく対応を推進するとともに、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加していることから、治療をしながら仕事ができる社会を目指す対応が求められ、「治療と仕事の両立」への支援を推進していく必要があると説明されました。

また、化学物質による休業4日以上の災害は450件程度で推移し、規則等で規制の対象となっていない物質を起因とするものが全体の8割を占めている現状から、新たな化

学物質に対応する取り組みとして、事業者が自ら行ったリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のための講ずべき措置を適切に実施する制度や、リスクアセスメント対象物を製造、取り扱い、譲渡提供する事業場は「化学物質管理者」を選任する必要があるなどの制度改正について説明がありました。

最後に、労働衛生週間実施要綱に基づき、週間期間中に事業場が実施する5項目をはじめ、準備期間中に実施する重点事項等について話があり、監督署からの説明が終わりました。

監督署からの説明ののち、協会からの連絡事項をお話しし労働衛生週間説明会を終了しました。

◇今後の支部関連行事・講習予定◇

- ・ 11月10日(金)～11日(土) ガス溶接技能講習  
(学科・三原サン・シープラザ、実技・今治造船広島工場)
- ・ 11月14日(火) 第47回広島県産業安全衛生大会  
(広島市・JMSアステールプラザ)
- ・ 令和6年1月26日(金) 第2回幹事会、分会・部会実務担当者会議及び研修会  
(三原市中央公民館・予定)

※ 10月3日、5日に予定していました衛生週間視察につきましては、今年度も中止することと致しました。併せて、関連した10月12日開催予定の第2回労働衛生部会及び11月16日開催予定の労働安全・衛生表彰式も中止としています。

◇追加・変更された本部講習等◇

- ・ 石綿作業主任者講習（追加講習）
  - 1月30日(火)～31日(水) 福山商工会議所
  - 2月13日(火)～14日(水) 広島情報プラザ地下ホール(広島市)
  - 2月27日(火)～28日(水) 広島情報プラザ地下ホール(広島市)
  - 3月5日(火)～6日(水) 広島情報プラザ地下ホール(広島市)
- ・ 化学物質管理者専門的講習（新たに実施する講習）
  - 11月22日(水)、24日(金) 林業ビル8階
  - 12月18日(月)～19日(火) 福山教習所
  - 12月25日(月)～26日(火) 林業ビル8階
  - 1月29日(月)～30日(火) 福山教習所
  - 1月31日(水)～2月1日(木) 林業ビル8階
- ・ 化学物質管理者講習（新たに実施する講習）
  - 12月1日(金) 林業ビル8階
  - 2月22日(木) 福山教習所